

商店会をはじめとした地域商業の活性化を後押し！

中小企業への省エネ設備購入について（矢口敦彦経済局長）

本年6月定例会において補正予算として予算化し、8月30日から10月6日までの期間で申請を受け付けた。省エネ設備の更新については、市内の事業者から強いニーズがあり、想定を上回る申請があったことから予想額を超える金額となった。また、エネルギー価格や物価が依然として高止まりをしていることや、国の交付金の活用など財源確保のめども立ったことから、今回、追加の補正予算を計上した。

議案第183号「令和5年度さいたま市一般会計補正予算（第5号）」2億6,907万1,000円を追加

学校ガチャ、公立学校の施設格差をなくし、子供たちが平等に学べる環境を！

「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備について

給食費の公会計化について

Q. 学校給食費公会計化が開始されることで食材納入業者への対応はどのようになるか。公会計化後もこれまで通り、食材納入業者が給食の食材を納入できる配慮がされているか。また、それに対応する行政側の体制について確認したい。

竹居秀子教育長

A. 本市では、地産地消を取り入れ、学校ごとに創意工夫に富んだ安全でおいしい給食を提供するために、地元食材納入業者から多くの給食用食材の納入を受けている。公会計化移行後もこれまで通り地元食材納入業者に継続して納入いただけるよう説明会を開催し、公会計化の概要、給食物資納入業者登録制度や必要な手続きの方法等について丁寧に示して、登録漏れのないよう配慮していきたい。

教育行政の体制についても、公会計化の実施に伴う事務量の増加でご迷惑がかからないように体制を整え準備を進めていきたい。

公立の学校教育の使命について

Q. 令和5年度の教育行政方針において、「親ガチャ」との記述があるが、現実的には「学校ガチャ」であり、学校間の差が生じている。例えば、美園北小は児童生徒数が多く、新和小を選んで欲しいと説明会を実施した状況。しかし、新和小の体育館には空調はつかなかった。美園北小の児童数の過大対策にも、小学校体育館への空調設備設置の計画とは別にすべきだと思われる。

また、岩槻区の体育館には武道場が無い。このハード面における差については、教育委員会としてどのように考えるのか。「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備について伺う。

竹居秀子教育長

A. 本市においては、老朽化した学校がある一方で、新設間もない学校、あるいは修繕が必要な学校と、設置年数や状況等に違いがあり、また空調設備や武道場など学校施設の保有する機能に違いがあることも認識している。人口の偏りが拡大すれば、それに伴って学校規模の不均衡も拡大し教育への支障が生じることが予想されるが、学校間の教育環境の違いにより、児童生徒の教育活動に支障がでることは絶対に避けなければならない。教育委員会では、老朽化対策や安全確保を最優先に考え、リフレッシュ基本計画に基づいた学校施設の改修・改築を行うとともに、ICT環境の整備や教職員の働き方改革に加え学校の魅力化など、ハードとソフトの両面から対策を講じていく。

また、美園地区のように施設面や児童生徒数などに同様の状況が生じた場合には、部局横断的に速やかな対策が取れるよう、引き続き教育行政方針に学校規模の適正化や良好で質の高い教育環境整備を位置づけていく。

岩槻の中学の学校施設（武道場）については、9月決算特別委員会においても言及しました。

西原中については、柔道部があるにも関わらず武道場が無い状況であり、これについては令和4年度に武道場の基本計画を策定し、建てられる位置、大きさ、構造などを調査した。これを踏まえ、今年度、地下埋設物の調査をしているが、順次整備に向けて努力していきたい。



区政施行20周年事業

岩槻駅東西自由通路ラッピング装飾を行いました

岩槻駅東西自由通路階段（東口階段1箇所）に「人形のまち岩槻」に関連するラッピング装飾を行いました。

「人形のまち岩槻」としてのにぎわいを創出するとともに、岩槻を訪れた来訪者に向けて岩槻の地域資源のPRを図り、岩槻の魅力発信します。

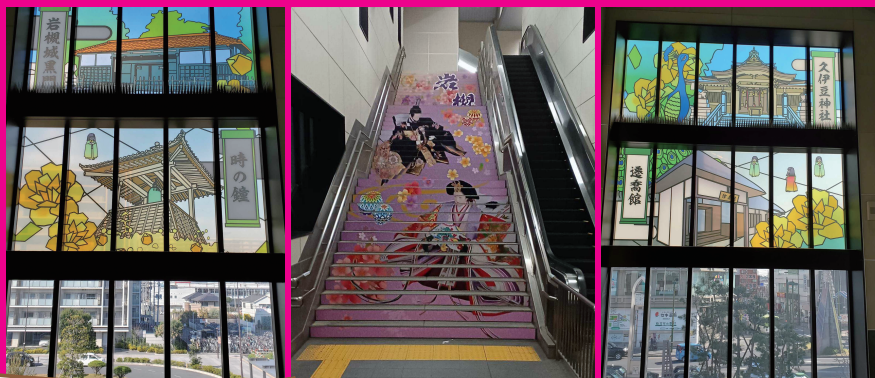
設置日

令和5年10月21日（土曜日）

設置場所

岩槻駅東西自由通路階段（東口階段1箇所）

このラッピングデザインは区民の投票で決定いたしました。



さいたま市ホームページ <http://www.city.saitama.jp>